

令和6年度地域創生総合支援事業(サポート事業)採択事業

【一般枠】

ページ	新規・継続	事業名	事業主体	実施場所(市町村及び場所)	事業概要
1	継続3	いいたて村の人々の“心と体の健康増進”への取り組み	特定非営利活動法人ふくしま再生の会	飯館村	村外の医療サポートチームと村内の地域医療機関等が連携して、特に孤立しがちな高齢者の日常生活を支え、健康不安を軽減するために以下の取組を実施。 ・健康いちばんの集い(医療従事者による健康相談や施術) ・安心テレフォン(電話による安否確認やカウンセリング) ・地元住民組織と連携した勉強会
2	継続3	東北お遍路による地域活性化事業	東北お遍路・福島	浜通り地方	福島沿岸部の巡礼地巡り(お遍路)を通じた交流人口拡大を目的とし、以下の取組を実施。 ・福島の3.11物語募集と東北お遍路巡礼地への登録 ・俳句コンテスト ・フォトエッセイコンテスト ・標柱設置者募集 ・東北お遍路の宿・福島登録 ・お遍路フォーラムin福島 ・巡礼地巡りバスツアー
3	継続3	ふくしまスポーツ未来プロジェクトin相双	ふくしまスポーツ未来プロジェクトin相双実行委員会	南相馬市 榎葉町	地域の青少年や住民と県内外のスポーツ関係者や愛好家とのスポーツ交流事業を通じた青少年育成、地域の魅力発信による風評払拭、人的ネットワーク構築による交流人口拡大と地域活性化を目的とし、以下のとおりジュニア育成交流スポーツ教室を開催。 ・日程 令和6年6月～令和7年3月 ・場所 みちのく鹿島球場、鹿島CC、体育館、Jヴィレッジ等 ・内容 野球、サッカー、ゴルフ、ラグビー等のプロ選手や指導者によるスポーツ教室を実施。
4	継続2	SOSO創生・潮風マーケットでつくる賑わい事業	釣師潮風マーケット実行委員会	新地町	風評払拭、交流人口拡大、地域の賑わい・活気の創出を目的に、以下の事業を実施。 ・青空マーケット×軽トラ市(新地町内開催3回程度) ・子どもの遊び場WS(遊びを通じて地域の魅力や防災を学ぶ) ・風評払拭・安心安全PR(チラシやパンフレットの配布) ・マーケット向上勉強会(魅力ある商品作りやSDGsの取り入れ方等) ・WEB・SNS等の情報発信
5	継続2	相馬の「未来」を感じて・学んで・発見しよう!	一般社団法人相馬青年会議所	相馬市	地域の未来である子どもたちの郷土愛を醸成し、地域を支える若い人材を育て、地域振興に寄与するため、以下の取組を実施。 ・日程 令和6年11月3日(日) ・場所 相馬市内各地 ・内容 相馬市の子どもたち目線で魅力スポットを発見、発掘し、相馬市内に住む子どもや家族が参加する観光体験ツアーを実施する。
6	継続2	ダンスで地域を元気に! 相双復興ダンスプロジェクト	相馬ストリートダンス協会	相馬市 南相馬市 新地町	自己表現の手段として昨今普及している「ダンス」の手法を通して、子どもたちに地域の誇りと夢を持ってもらい、子どもたちの健全な育成を通じた地域社会を牽引する人材を育成することを目的とし、以下の取組を実施する。 ・ダンスレッスン、成果発表会 ・ダンス振興とより効果的な教育指導のための研修等の実施。
7	継続2	SOMA逸品カレーコンテスト2024	相馬商工会議所	相馬市	地産農林水産物等の風評払拭、安全性の正確な情報発信、交流人口の拡大を目的とし、そうま由来の食材を使用したカレーコンテストを実施。 ・開催日 令和6年10月20日(日) ・場 所 田町通り商店街、馬陵通り地区路上特設会場 ・内 容 相馬由来の食材を利用したカレーのコンテストを実施「SOMA音フェス2023」(自己財源で対応)と同時開催
8	継続2	パークゴルフ全国大会を通じた参加者の復興交流と物産振興事業	相馬市パークゴルフ大会実行委員会	相馬市	令和6年11月29日～12月1日にパークゴルフ全国大会(2024第30回JALCUP相馬松川浦全国パークゴルフ選手権大会)を開催する。大会を通して、風評払拭、特産品の消費拡大、交流人口拡大を図る。
9	新規	大都市圏の大学生向け榎葉の特産品PR事業	一般社団法人トラバース	東京都 京都府 榎葉町	移住定住推進、風評払拭及び交流人口の増加を目的として、都市圏の大学で榎葉町産の干し芋、日本酒を販売する。 ・時期 令和6年6月～11月 ・場所 榎葉町のインターンに来た大学生の在学している大学(東京大学、京都大学、慶応義塾大学、早稲田大学など)
10	新規	地域とともに夢をはぐくむマルシェ事業	ビルダーズドリームラボ	相馬市	子どもたちが夢を持つきっかけとなる「ビルダーズドリームマルシェ」の開催を通して、地域全体で子どもの夢と未来を応援する土壌を造成する。また、イベントを通して企業間交流と交流人口の拡大を図る。 ・日時 令和6年4月28日(日) ・場所 (株)セイユー建設、音屋ホール、井戸端よしお敷地内
11	新規	体験型アクティビティのイベント開催による健康増進・地域活性化事業	新地町商工会青年部	新地町	新地町内の子どもたちは、外出する機会が減少し、全国平均を上回る肥満傾向児の出変率となっている。そこで、外出機会の提供や地域課題の解決を目的として「2024 しんち 観海フェス」を開催。 ・日時 令和6年8月24日(土) ・場所 観海パーク ・内容 アクティビティを提供する遊び体験ブースや健康増進ブース、地域PRブースを出展
12	新規	インフルエンサーから学び、地域をデザインする発信促進事業	相馬やっぺすっぺ 想造委員会	相馬市	相馬市は多くの観光資源が存在するが、発信力や巻き込む力が弱く、魅力を十分に発信・活用できていないという課題がある。地域に関わる一人一人が地域の魅力を理解し、インフルエンサーとなることで、交流人口や関係人口拡大に寄与するため、以下の取組を実施。 ・地域インフルエンサーの育成講座 ・課題からアイデアを育てる伴走支援、マッチング ・地域を巻き込む参加型発信イベント(SOMA シーフエス 2024)の開催

令和6年度福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）事業紹介カード

事業名	<p>いいたて村の人々の“心とからだの健康増進”への取り組み</p>
事業概要	<p>村外の医療サポートチームと村内の地域医療機関等が連携して、特に孤立しがちな高齢者の日常生活を支え、健康不安を軽減するために以下の取組を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康いちばんの集い（医療従事者による健康相談や施術） ・安心テレフォン（電話による安否確認やカウンセリング） ・地元住民組織と連携した勉強会
事業の様子（写真）	 <p>上段左上から右に「講話」この時は看護師による介護体験、個別ケア(手前は爪切り)、手作りワークショップ。中段左「看護師指導のほぐし体操」、右「阿波踊りグループと一緒に踊る参加者」。下段左から右に「昼食の様子」「食事作り」「提供した昼食の例」</p>
事業内容	<p>4月から11月まで毎月1回年間で8回「健康いちばん！のつどい」を開催しました。プログラムの基本は、①看護師さんの指導による『ほぐし体操』、②医師や看護師、栄養士による『講話』、③看護師さん保健師さん柔道整体師さんなどの爪切り・フットケア・ハンドケア・整体・もみほぐしなどの『個別ケア』、④医師や保健師、心理カウンセラーなどによる『個別相談』、⑤似顔絵・塗り絵作家による『手作りワークショップ』、⑥地元の方と管理栄養士が共同で作る『食事の提供』です。この他、本年は特別プログラムとして東京大学応援部の「エール」、地元有志による「飯曾小唄」「太極拳」「阿波踊り」などの演舞を行いました。昔馴染みと一緒に体を動かし声を出して楽しいひとときを過ごしています。</p> <p>毎回の参加者は30人から40人、これにスタッフも30人ぐらい加わって運営しています。参加者からは「毎月楽しみにしている」という声が寄せられています。行政地区などの地域を超えた参加者が集っていることも評価されています。またお馴染みの参加者だけではなく、ゲストとして参加された応援団や太極拳や阿波踊りのメンバーと一緒に声を出したり体を動かすことで参加者の表情がイキイキとしてくるのもこの事業の特徴です。いつものお馴染みのプログラムにその時々のお楽しみ特別プログラムがバランスよく調和して、参加者それぞれがリフレッシュしています。昨年度まで、首都圏からの医療関係者を含むボランティアと村の医師や訪問看護ステーションなどが中心となって運営していましたが、本年度はあらたに村民が中心となって結成された「健やかに暮らせるいいたての会」のメンバーが運営に加わりより地元に着目し、地元の方が中心的な担い手となりました。</p>
苦労・失敗談	<p>年度のはじめに年間の開催日を決めて実施していますが、本年度は予定して申し込んでいた会場が、会場側の都合で使えなくなることがありました。他の会場を手配していただき無事に開催できスタッフ一同ホッとすることもありました。</p>
来年度の目標	<p>プロジェクトの運営を地元の方中心に移行して、より地域に密着した活動を目指します。昨年度まで首都圏やその他の地域からくるボランティアを中心に運営していましたが、本年度から飯館村やその周辺に住んでおられる方も運営に加わっていただいています。来年度はさらに地元化を進めます。</p> <p>帰村された方の高齢化が顕著になっている状況がありますので、状況に合わせたプログラムの開発や「場作り」を大きな目標としています。</p>
その他	
団体名	<p>特定非営利活動法人ふくしま再生の会（担当 中町英佐子・矢野伊津子）</p>
連絡先	<p>事務所 0244-26-5224 メール desk@fukushima-saisei.jp 事務局担当者 携帯 090-7815-6441</p>
団体の活動内容	<p>東京電力原発事故をきっかけに飯館村の放射線・放射能測定を開始しデータ収集を行い、被災地の再生のための各種の取組を行うNPO。（会員数252人・団体：2024/7/31現在）現在の活動内容は放射線・放射能測定、医師・看護師・臨床心理士・ソーシャルワーカー・管理栄養士等による定期的なイベントの開催、ワイン用ぶどうの実験栽培・里山の再生のための森林調査・星空観察のための施設運営、図図倉庫（旧コメリ飯館店）で宇宙創成から現在の地球環境までのタペストリー、霧箱等による放射線観察装置などの展示・スタディツアー・アートイベント開催などを行っている。</p> <p>ホームページ http://www.fukushima-saisei.jp/ YouTube https://www.youtube.com/channel/UC-Miq7zZGb-L2IdAWRrRkiw/videos FACEBOOK https://www.facebook.com/FukushimaSaisei</p>

令和6年度福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）事業紹介カード

事業名	東北お遍路による地域活性化事業
事業概要	福島沿岸部の巡礼地巡り（お遍路）を通じた交流人口拡大を目的とし、以下の取組みを実施。 福島の3.11物語募集と東北お遍路巡礼地への登録、俳句コンテスト フォトエッセイコンテスト、標柱設置者募集、東北お遍路の宿・福島登録 お遍路フォーラムin福島、巡礼地巡りバスツアー
事業の様子 (写真)	 <p>上左:今回巡礼地に登録された「おれたちの伝承館」(南相馬市) 上右:「とみおかアーカイブ・ミュージアム」 下左:とみおかワイナリー(富岡町)。</p>
事業内容 と 成 果	<p>①福島の3.11物語募集と東北お遍路巡礼地への登録：12月4日に開催された東北お遍路巡礼地の新規登録を審議する有識者会議に、宮城県2件、福島県からは「おれたちの伝承館」（南相馬市）、とみおかアーカイブ・ミュージアム（富岡町）、とみおかワイナリー（富岡町）、福島第二原子力発電所（楡葉町）の4件がエントリーした。厳正な審議の結果、提案の6件すべてが登録、岩手県の1件が削除され、東北お遍路巡礼地は100ヶ所となった。②俳句コンテスト：36都道府県、233名1,559句の応募があった。福島33名、宮城27名、岩手23名、東京20名と、福島からの応募が最も多かった。現在審査中。；③フォトエッセイコンテスト（写真に短文を添えたもので審査）：26名72点の応募があった。12月19日審査予定。；④標柱設置者募集：標柱設置者募集のチラシを作った。県内で新規登録になった巡礼地などに、チラシを送付して、呼掛けしている。；⑤お遍路フォーラムin福島：2025年2月22日、新地町農村環境改善センターで開催予定。検討テーマ「市民活動が支える巡礼の道・熊野古道」、講師：小野田真弓氏。パネルディスカッション検討テーマ「福島から世界文化遺産を」。パネラー：川島修一氏、竹下敦宣氏、小野田真弓氏。；⑦巡礼地巡りバスツアー・後半：訪問先候補：きみと、宝鏡寺伝言館、とみおかアーカイブセンター、Jヴィレッジ（ランチ）、希望の牧場、請戸小学校。いわき発で、3月開催予定。</p>
苦勞・失敗談	⑤東北お遍路の宿・福島登録:検討のため何度か話し合いを持つが、うまく運んでいない。
来年度の目標	東北お遍路巡礼地がちょうど100ヶ所になった。東北お遍路巡礼地マップの改訂版を作る予定。
その他	お遍路マップオンライン化について検討を開始している。
団体名	東北お遍路・福島
連絡先	976-0022福島県相馬市尾浜字南ノ入241-3/cxh05551@nifty.com
団体の活動内容	東北お遍路・福島は（一社）東北お遍路プロジェクトの福島支部として活動している。東北の被災地には八戸からいわき市まで95ヶ所の巡礼地が設置されているが、福島県は32ヶ所（宮城34ヶ所）。双葉郡などの開放に時間を要したからと考える。そこで、東北お遍路のアートに関する活動や宿泊施設の紹介を通し、福島県浜通り地方に観光客を招き入れる様々な方策を実施する。

令和6年度福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）事業紹介カード

事業名	ふくしまスポーツ未来プロジェクトin相双
事業概要	<p>地域の青少年や住民と県内外のスポーツ関係者や愛好家とのスポーツ交流事業を通じた青少年育成、地域の魅力発信による風評払拭、人的ネットワーク構築による交流人口拡大と地域活性化を目的とし、以下のとおりジュニア育成交流スポーツ教室を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程 令和6年6月～令和7年3月 ・場所 みちのく鹿島球場、ならば球場、鹿島CC、体育館、Jヴィレッジ等 ・内容 野球、サッカー、ゴルフ、ラグビー等のプロ選手や指導者によるスポーツ教室を実施。
事業の様子 (写真)	
事業内容 と 成 果	<p>11月16日(土) 楽天イーグルスみちのく鹿島球場(南相馬市)にて、「中学生・スポーツ選手とスポーツで遊ぼう」という取り組みを実施いたしました。</p> <p>ゴールデンエイジ(5～12歳)を対象に、「走る」「投げる」「打つ」など簡単な運動をベースボール型メニューに加え、バドミントン、スナッグゴルフ、スポーツチャンバラなどフィールドを区切って、遊びの中で体を動かす内容でした。中学生・高校スポーツ選手と一緒に遊ぶ内容で、地域の中高生とゴールデンエイジの子ども達が楽しく交流していました。参加者の募集、告知に際しては、南相馬市スポーツ振興課の方々と連携させて頂きました。</p> <p>中学生や高校生にとっても貴重な機会になったと指導者の方から伺いました。今後も地域で連携する楽しさをスポーツを通じて感じて頂けるよう取り組みたいと思います。</p>
苦労・失敗談	<p>少子化の中での集客には、継続的な実施が必要と感じています。運営スタッフについても同様で、参加する方にも、運営する方々にとっても有意義な交流事業にしていくことが必要だと感じています。</p>
来年度の目標	<p>サポート事業は、いったん終了いたしますが、地元の関係団体の皆さんと連携して持続的な開催を目指していきたいと思っております。スポーツ選手に指導頂くものについては、費用負担についても地域の皆さんとご相談していきたいとおもいます。他団体の皆さんとの連携なども含め、ご相談していきたいと思っております。</p>
その他	
団体名	ふくしまスポーツ未来プロジェクトin相双実行委員会
連絡先	事務局 江花080-5743-5366
団体の活動内容	<p>年間を通して温暖な相双地域とスポーツ施設を活用し、スポーツを通じた交流人口の拡大と地域活性化を目指しています。スポーツで地域のジュニア世代の健全育成を目指します。福島ゆかりのスポーツ選手や指導者と交流し、スポーツツーリズムの発展に向けたネットワーク作りと地域の施設や食材等の魅力を発信したいと考えています。ゴールデンエイジ(5～12歳)は「運動能力が著しく発達する時期」運動に親しむ機会を創出したい。2月には、最新の動作解析を外部講師を招いて実施。3月上旬には、プロを招いたゴルフの体験事業を予定しています。</p>

令和6年度福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）事業紹介カード

事業名	SOSO創生・潮風マーケットでつくる賑わい事業
事業概要	<p>風評払拭、交流人口拡大、地域の賑わい・活気の創出を目的に、以下の事業を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青空マーケット×軽トラ市（新地町内開催3回程度） ・子どもの遊び場WS（遊びを通じて地域の魅力や防災を学ぶ） ・風評払拭・安心安全PR（チラシやパンフレットの配布） ・マーケット向上勉強会（魅力ある商品作りやSDGsの取り入れ方等） ・WEB・SNS等の情報発信
事業の様子（写真）	
事業内容と成果	<p>◆釣師潮風マーケット 時期： 5月・10月（8月は雨天中止） 会場： 釣師防災緑地公園 出店者：相双地域、宮城県仙南地域 など 来場者数： 約2,600人 内容： ■あおぞら市場（農産品・手芸品・工芸品、菓子、軽食、キッチンカー） ■こどもたちの遊び場WS（遊びを通じて地域の魅力や防災を学ぶ） ■風評払拭・安心安全PR（チラシやパンフレットの配布）</p>
苦労・失敗談	<p>8月は雨天中止、10月は雨天の中開催 今年は雨に見舞われて、参加者数が伸びず難しい開催でした</p>
来年度の目標	<p>5月・7月・10月の開催を検討。雨天時の対策を考えながら実施したい</p>
その他	<p>令和7年度の参加者募集を4月から行う予定です！！</p>
団体名	<p>釣師潮風マーケット実行委員会</p>
連絡先	<p>090-8877-7224（担当：日下）</p>
団体の活動内容	<p>釣師潮風マーケット実行委員会は、マーケットを通じて相双地域の人々、更に県内外の人々との交流が生まれ「風評払拭」「地産地消」「SDGs」「防災」など複数の地域課題をみなが一緒に考え、解決に向けての意識を持ち、取り組みに参加することで、地域の人々がここに住む楽しさや誇らしさを持つことを目的にした事業です。 https://www.sioquake.blue/</p>

令和6年度福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）事業紹介カード

事業名	相馬の「未来」を感じて・学んで・発見しよう！	
事業概要	<p>地域の未来である子どもたちの郷土愛を醸成し、地域を支える若い人材を育て、地域振興に寄与するため、以下の取組を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程 令和6年11月3日（日） ・場所 相馬市内各地 ・内容 相馬市の子どもたち目線で魅力スポットを発見、発掘し、相馬市内に住む子どもや家族が参加する観光体験ツアーを実施する。 	
事業の様子（写真）	 <p>【大野村農園で朝食】</p>	 <p>【相馬中村神社で歴史を学ぶ】</p>
事業内容と成果	<p>事業名：「君たちはまだ相馬を知らない」 日時：2024年11月3日（日）9：00～17：00 会場：相馬市内 参加者：27名 内容：地元高校生が企画立案した相馬の魅力を巡る魅力発信ツアー 成果：相馬の魅力を堪能できた 地元を離れてもまた戻って来たい。継続発信することで交流人口、移住促進に繋がりそう。 （参加者の声より） 企画立案した高校生、参加した高校生が相馬の魅力を再確認することができ、魅力を発信する側となることで、愛郷心が芽生えました。</p>	
苦勞・失敗談	<p>限られた予算、限られた時間の中ではありますが、相馬の魅力を伝えるにはどうしたらいいのかを参加者全員で最大限に知恵を絞り、高校生や教諭の方々と協力することで、当日の運営まで立派に貢献してくれました。</p>	
来年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・事業に関わる人数を増やし、更に多くの方に相馬の魅力発信事業として成長させたい。 ・地元高校生との連携は当団体の強みでありますので、青少年育成事業としての継続を目指していきたい。 	
その他		
団体名	一般社団法人相馬青年会議所（担当：立谷）	
連絡先	電話：0244-36-4411	
団体の活動内容	<p>一般社団法人相馬青年会議所は、地域の青年経済人が明るく豊かな社会の実現のために、青少年育成事業や防災減災事業など様々な運動に取り組んでいます。多様なバックグラウンドを持つ地域に根ざしたメンバーが多数所属していることに加え、国際組織としてのスケールメリットを持つ団体です。</p>	

令和6年度福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）事業紹介カード

事業名	ダンスで地域を元気に！相双復興ダンスプロジェクト
事業概要	<p>自己表現の手段として昨今普及している「ダンス」の手法を通して、子どもたちに地域の誇りと夢を持ってもらい、子どもたちの健全な育成を通じた地域社会を牽引する人材を育成することを目的とし、以下の取組を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンスレッスン、成果発表会 ・ダンス振興とより効果的な教育指導のための研修等の実施。
事業の様子 (写真)	
事業内容	<p>本年度は、昨年度に引き続き、各小学校と連携を行い、授業時間を活用したダンスワークショップの提供を行いました。また、学校授業等で興味を持った子供たちが次のステップへ進めるよう、成果発表会当日に参加無料のダンスワークショップを実施しました。</p> <p>また、ダンスという共通の話題の下、他地域の生徒とふれあい、互いに刺激を与え合う貴会として本年度2回目となるEAST JAPAN DANCE CAMPを相馬市民会館で実施しました。</p>
苦労・失敗談	<p>本事業の実績校は前のめりでご協力いただき、子供たちの機会提供をどんどん行える一方で、新規参加校の開拓が難しく、昨年に引き続き課題として残りました。</p>
来年度の目標	<p>来年度は、地域の子供たちの参加数、参加割合をより大きくすべく、新規参加校の獲得へ向け、引き続き活動を推進してまいります。</p>
その他	なし
団体名	相馬ストリートダンス協会
連絡先	担当 松本光基 (080-2822-4726)
団体の活動内容	<p>相馬ストリートダンス協会は、相馬市に本拠地を置く、相双地区でストリートダンスを中心に、ダンス振興を行う団体です。ダンスが自己表現の手段として、子どもたちの夢を叶える武器として、地域を担う子どもたちがのびのびと暮らせる環境づくりを、ダンスの力で行う活動をしています。</p>

令和6年度福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）事業紹介カード

事業名	SOMA逸品カレーコンテスト2024
事業概要	<p>地産農林水産物等の風評払拭、安全性の正確な情報発信、交流人口の拡大を目的とし、そうま由来の食材を使用したカレーコンテストを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 令和6年10月20日（日） ・場所 田町通り商店街、馬陵通り地区路上特設会場 ・内容 相馬由来の食材を利用したカレーのコンテストを実施「SOMA音フェス2023」（自己財源で対応）と同時開催
事業の様子（写真）	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">気になるカレーブースに並ぶ来</p> <p style="text-align: center;">コンテストで優勝した出店者のインタビュー「相馬牛のキーマカレー」 グルテンフリー、卵、牛乳を不使用のためアレルギーの方でも楽しめる</p>
事業内容と成果	<p>商工会議所窓口・出店者店舗にて、チケット（4枚綴1枚300円×4枚＝1,200円分）を1,000円で販売し、チケットと引き換えに相馬の食材を使用したカレーを提供し、来場者による投票でカレーNo.1を決定する事業。</p> <p>今回2年目の事業となり昨年より出店者が4者増え、市外からは福島、米沢のほか新たに新地町が出店され、出店者も広域的に拡大していることやカレーメニューも相馬産の農水産物にこだわり、各店舗が食材の旨味を引き出す工夫を行い、相馬産の食材の魅力を発信することができた。当日は、10時からイベントが始まり4,000人の来場があり、3,200食分のチケットが12時前に完売となり大変好評であった。</p> <p>また、出店者は主に居酒屋やすし屋など様々な分類の飲食店であるが、イベント後も各店舗でカレーを提供していただくよう促している。</p>
苦労・失敗談	<p>チケットがお昼前に完売したことで、カレーを食べられないお客様がいたことが課題である。</p>
来年度の目標	<p>市内の来場者だけではなく、市外への周知を工夫し、地域外の方々に相馬の魅力を発信したい。</p>
その他	
団体名	相馬商工会議所
連絡先	0244-36-3171
団体の活動内容	<p>地区内における商工業の総合的な改善発展を図り、中心市街地活性化事業や地域物産・観光振興事業、地域振興・経済連携事業、個社支援のための経営改善普及事業の実施。また、地域活性化のため相馬市や福島県商工会議所連合会など関係団体と連携し、国等への要望活動を積極的に行っている。</p>

令和6年度福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）事業紹介カード

事業名	パークゴルフ全国大会を通じた参加者の復興交流と物産振興事業
事業概要	令和6年11月29日～12月1日にパークゴルフ全国大会（2024第30回JALCUP相馬松川浦全国パークゴルフ選手権大会）を開催する。大会を通して、風評払拭、特産品の消費拡大、交流人口拡大を図る。
事業の様子（写真）	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>クラブ検査⇒受付⇒参加賞配布</p> <p>参加賞は、①相馬藩主御用達150ml 令和6年度全国醤油品評会において「農林水産大臣賞」受賞。うまみ成分の高いJASこいくち特選醤油</p> <p>②うすくち醤油360ml 令和4年度第49回全国醤油品評会において、全国醤油品評会において「農林水産大臣賞」受賞</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>表彰式</p> <p>3部門(シニア、男子、女子)優勝者</p> <p>阿部相馬副市長と来賓のJAL仙台支店長と客室乗務員です。</p> </div>
事業内容と成果	<p>1. パークゴルフの最高峰の競技大会といわれる「2024第30回JALCUP相馬松川浦全国パークゴルフ選手権大会」が11月29日から12月1日の日程で福島県相馬市光陽パークゴルフ場で盛大に開催された。同コースのJALCUP開催は3年目となり、北は北海道、南は沖縄県・久米島まで全国から459名が参加。競技は2日間81ホールにわたり熾烈な戦いが展開されました。又、交流と絆を深めました。</p> <p>2. 今回は、相馬市名物の「浜汁」を29日の昼に提供しました。内容は、相馬で旬の魚介類、相馬産白身のつみれ、和風だしの出汁に日本一の山形屋のお味噌を入れ、相馬産のあおさ、ネギをトッピングしたものでした。</p>
苦労・失敗談	パークゴルフ発祥地の北海道から昨年13名から4名増えて17名の参加となった。参加者を増やす情宣活動をパークゴルフ新聞、NPGAニュース等で行っていくことが課題である。
来年度の目標	<p>1. 参加人数を増やす情宣活動を4月頃から進めていく。</p> <p>2. ホテル及び旅館が少なく宿泊先がなく大会参加を見送る人がいた。宿泊施設(駅前の双葉屋旅館、松川浦の斎春と栄壮)が来春オープンするので、参加者の増大が見込める。</p>
その他	令和7年度の参加募集を7月から行う予定です。開催日7年11月28日～30日
団体名	相馬市パークゴルフ大会実行委員会
連絡先	相馬光楊パークゴルフ場 電話0244-26-8009 事務局(徳田、荻野)
団体の活動内容	7年度の活動計画です。相馬市パークゴルフ大会実行委員会は、実行委員長、実行委員、事務局等で構成された団体です。年間を通じて①東日本パークゴルフ選手権大会4月に開催(主催福島民報社)②相馬市長杯「野馬追カップパークゴルフ大会」5月に開催③11月28日～30日に開催します「2025第31回JALCUP相馬松川浦全国パークゴルフ選手権大会」等の企画、運営を行っています。

令和6年度福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）事業紹介カード

事業名	大都市圏の大学生向け檜葉の特産品PR事業
事業概要	<p>移住定住推進、風評払拭及び交流人口の増加を目的として、都市圏の大学で檜葉町産の干し芋、日本酒を販売する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期 令和6年6月～11月 ・場所 檜葉町のインターンに来た大学生の在学している大学（東京大学、京都大学、慶応義塾大学、早稲田大学など）
事業の様子 (写真)	
事業内容 と 成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○令和6年5月11日～5月12日 福島屋 早大店（早稲田大学）出店@東京グルメマーケット in 田町駅前 ○令和6年10月20日 福島屋 早大店（早稲田大学）出店@早稲田大学学園祭「稲門祭2024」 ○令和6年11月20日～11月23日 福島屋 京大店（京都大学）出店@京都大学学園祭「北部祭典2024」 ○令和6年12月1日 福島屋 立命店（立命館大学）出店@立命館大学学園祭「BKC祭典2024」 ○成果：「檜葉町の干し芋」200袋と「檜葉の風（地酒）」400杯を完売。大都市圏の大学生の関係人口100人増加。
苦労・失敗談	<p>酒類提供のできない学園祭が多かったため、今後は都市部で開催されるマルシェなども対象にしていきたい。</p>
来年度の目標	<p>福島県内におけるPR対象エリアの拡大と大学生の関係人口拡大。また新たに、檜葉中学校の生徒が運営する模擬会社「Nalys」と共同で檜葉町産ゆずを使用した特産品を開発し、三大都市圏の義務教育学校給食や大学学食のメニューへの採用を目指す。</p>
その他	
団体名	一般社団法人トラバース
連絡先	irie@traverse.or.jp
団体の活動内容	福島県における農業、アート、情報発信の分野での地域創生事業。

令和6年度福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）事業紹介カード

事業名	地域とともに夢をはぐくむマルシェ事業
事業概要	<p>子どもたちが夢を持つきっかけとなる「ビルダーズドリームマルシェ」の開催を通して、地域全体で子どもの夢と未来を応援する土壌を造成する。また、イベントを通して企業間交流と交流人口の拡大を図る。</p> <p>・日時 令和6年4月28日（日） ・場所 (株)セイユー建設、音屋ホール、井戸端よしお敷地内</p>
事業の様子（写真）	 <p>【重機を操作する子どもたち】 【オリジナル通貨と子どもたち】 【TV取材を受ける試乗体験】</p> <p>【窓ふき体験】 【ドローン操縦体験】 【高校生ボランティア】</p>
事業内容と成果	<p>①地域と子供たちの夢を育む「ビルダーズドリームマルシェ」の開催 子どもたちが夢を持つきっかけとなる楽しい職業体験の機会を提供するマルシェを実施 日時：2024年4月28日（日） 10時～17時 会場：(株)セイユー建設、音屋ホール、井戸端よしお敷地内 来場者数：約3,300人 後援：相馬市・相馬市教育委員会・南相馬市教育委員会、新地町教育委員会、相馬商工会議所等 内容： ■はたらく車試乗会（子どもたちにとって身近な「車」を通して職業観を養う） ■地域企業連携職業体験ブース（普段体験できない多種多様なお仕事を体験） ■ものづくり体験ブース（様々なワークショップでものづくりの楽しさを体験） ■先進技術体験ブース（普段体験できない先進技術を用いた「遊び」で夢を広げる） ■オリジナル通貨の導入（お仕事体験で「対価を得る」という社会の仕組みを経験） ■子ども食堂ブース（オリジナル通貨を使うことができる子ども食堂。食育と金銭感覚を養う） ■ステージ発表（地域の子供達の夢を応援するステージ）</p> <p>②子供の夢を応援する地域連携の造成 マルシェ造成の過程で積極的に「地域企業」「行政」「教育機関」を巻き込み、地域ぐるみで子どもたちの夢を育て、応援する地域連携の形を模索する。</p> <p>成果：○複数の広告媒体を活用し、県内外から3,300人を超えるお客様に会場にいらした。 ○子供だけでなく大人も一緒に様々なものづくりについて理解を深め、将来を考えるきっかけ作りができた。 ○また多くの高校生への協力を仰ぎ、イベント運営から子どもの支援までインターンシップを兼ねたボランティア活動に取り組んでもらった。（幅広い世代へのキャリア教育に関与することができた） ○多種多様な企業の参加により、地域を越えた企業間の交流も生み出すことができた。 ○地域ぐるみで子どもたちの育成に携わる文化を発信することができた。 ○オリジナル子ども通貨の導入で、働くことやお金の大切さを実体験をもって学ぶ機会を提供できた。 ○複数の市町村および団体からの後援を獲得できた。 ○幅広い年代や性別を制限することのない体験内容の精査ができた。</p>
苦労・失敗談	<p>交付決定から開催まで期間が短く、計画的に進めていたものの準備が間に合わず当日混乱を招く場面があった。また規模感も含め、運営するスタッフ間での共有事項も多く、周知徹底が難しいこともあった。また、イベント当日は予想以上の暑さで、日陰や給水ポイント設置等の準備が必要だったので、天気だけではなく気温にも留意していきたい。</p>
来年度の目標	<p>・地域企業との更なる連携 ・各自治体の意見を取り入れて、地域のニーズに合ったイベントにする ・教育機関と連携をして、運営や企画段階から学生とタイアップを図る ・こども食堂の定期開催 ・オリジナル通貨の用途拡大 ・SNSによる情報拡散の拡大 ・他イベントにて出張お仕事体験展開</p>
その他	
団体名	ビルダーズドリームラボ（担当：山岸 みゆき）
連絡先	電話：0244-32-1717
団体の活動内容	<p>地域のこどもたちと子育て世代を応援するために、福島県相馬市で活動する団体ビルダーズドリームラボ（BDL）です。「地域とともに」「楽しみながら学ぶ」をモットーに、こどもたちの育成を図ることを目標に活動しています。主要事業『ビルダーズドリームマルシェ』は、こどもたちの「夢」や「希望」を地域とともに育む事業として企画しております。</p> <p>URL: https://sites.google.com/view/buildersdreamlab/ instagram: builders_dream_lab</p>

令和6年度福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）事業紹介カード

事業名	体験型アクティビティのイベント開催による健康増進・地域活性化事業		
事業概要	<p>新地町内の子どもたちは、外出する機会が減少し、全国平均を上回る肥満傾向児の出変率となっている。そこで、外出機会の提供や地域課題の解決を目的として「2024しんち 観海フェス」を開催。</p> <p>・日時 令和6年8月24日（土）</p> <p>・場所 観海パーク</p> <p>・内容 アクティビティを提供する遊び体験ブースや健康増進ブース、地域PRブースを出展</p>		
事業の様子（写真）	 <p>盆踊り</p>	 <p>提灯の絵付け体験</p>	 <p>健康増進ブース</p>
事業内容	<p>体験型アクティビティのイベント開催 イベント名：～みんなで灯す～しんち観海フェス 日時：8月24日（土）10時～20時 場所：観海パーク（相馬郡新地町駅前一丁目） 内容</p> <p>①遊び体験ブース 子供や大人関係なく運動できるバブルボール相撲や、ボールなどの遊具遊び、射的、盆踊りなど遊びながら体を動かすことができるアクティビティの提供。</p> <p>②健康増進ブース 町の保健センターに依頼し、専門家による体力チェックブースを設け、体の状態の確認・改善のサポート。</p> <p>③提灯の絵付け体験ブース 町内の保育園や児童クラブ等に絵付けを依頼。当日の来場者も絵付け体験。</p> <p>④ステージイベント 来場者参加型のラジオ体操やダンス、町内の団体による演奏等披露。</p> <p>⑤地域PRブース 町内事業者や、関係団体に飲食ブースの出店、大学生による町づくり体験。</p>		
苦労・失敗談	<p>集客用のイベントを前半にしたため、後半の来場者数が伸び悩んだ。イベント最後の盆踊りに参加した方向けの催しがあるとより多くの参加者が集まったと考えられる。また、会場や会場周辺、主要道路（国道6号線）にイベントの周知が足りなかった。</p>		
来年度の目標	<p>アンケート集計の結果（回答数140）来場者の8割が40代までの家族連れであったため、家族で楽しめるようなブースを増やし外出機会を増やし、体を動かすことで健康課題の解決を図る。また、幅広い時間で集客が見込めるようなタイムスケジュールを作成し、地域外の来場者を見込めるようにPR方法を検討し交流人口の増加させ地域活性化を目指す</p>		
その他	<p>令和7年度は遊び体験ブースを増加しますので、ぜひ遊びに来てください。</p>		
団体名	<p>新地町商工会青年部（事務局：栗城）</p>		
連絡先	<p>TEL:0244-62-2442</p>		
団体の活動内容	<p>新地町にある若手商工業者の団体です。商工会の事業を積極的に推進するとともに、商工業の後継者たるべき青年の経営者としての資質を向上させ、もって商工業の総合的な改善発達を図り、あわせて社会一般の福祉の増進に資するための組織です。</p>		

令和6年度福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）事業紹介カード

事業名	インフルエンサーから学び、地域をデザインする発信促進事業
事業概要	<p>相馬市は多くの観光資源が存在するが、発信力や巻き込む力が弱く、魅力を十分に発信・活用できていないという課題がある。地域に関わる一人一人が地域の魅力を理解し、インフルエンサーとなることで、交流人口や関係人口拡大に寄与するため、以下の取組を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域インフルエンサーの育成講座 ・課題からアイデアを育てる伴走支援、マッチング ・地域を巻き込む参加型発信イベント（SOMA シーフェス 2024）の開催
事業の様子（写真）	
事業内容	<p>■地域インフルエンサーの育成 SNS勉強会の実施 5月24日開催@相馬市総合福祉センターはまなす館） 福島ゆかりのインフルエンサー「うさたにパイセン」を講師として起用したSNSの勉強会を開催しました。</p> <p>■課題からアイデアを育てる伴走支援 地元事業者及び高校生を巻き込み、各事業者の課題や地域課題を見つめ、講師「うさたにパイセン」発案の「ギャル式ブレスト」で整理し、解決策の提案と実践へ向けた伴走支援を行いました。</p> <p>■地域を巻き込む参加型発信イベントの開催 地域を巻き込む参加型発信イベント「シーフェス2024」を開催しました。本イベントでは、地域の魅力を広く発信するとともに、上記各事業に参加した地元事業者や高校生が企画する各種ブースの設置を通して実践しました。</p>
苦労・失敗談	<p>準備段階から、多くの事業者や有志を巻き込み、様々な議論を重ね、様々な関わり方のもとで成り立った事業でした。インフルエンサーの育成では、初年度単体の成果としては、伸び悩みましたが、今回の反省点を活かし、次年度以降へ引き継いでまいります。</p>
来年度の目標	<p>本年ハードルの高かった、インフルエンサー育成をより身近なものに感じ、実践できる仕組みづくりに挑戦し、育成したインフルエンサー同士が共創し、コレクティブインパクトを発揮できる土壌を整備します。</p>
その他	<p>来年1月より新体制となり、準備を進めてまいります。</p>
団体名	<p>相馬やっぺすっぺ想造委員会（担当：獺庭）</p>
連絡先	<p>TEL:090-7660-3915</p>
団体の活動内容	<p>相馬やっぺすっぺ想造委員会は、相馬市の有志がつどい、地域の様々なお祭りをコーディネートすべく立ち上がった団体です。関係団体として、相馬商工会議所青年部や相馬青年会議所、相馬双葉漁業協同組合青壮年部、旅館組合など、様々な分野で活躍する人材が有志としてつどい、それぞれの強みを最大限活かしながら活動を推進しています。</p>